



人同協だより

2017（平成29）年3月27日 発行 常磐地区人権・同和教育推進協議会

1. 平成28年度の人同協・事業活動を振り返って

今年度の人権週間には、初めての取り組みとして、12月4日、四日市市の「じんけんフェスタ」に出展し、人同協の活動等を紹介しました。

また12月10日には、露の団姫（つゆのまるこ）さんを講師にお招きし、西南部ブロックの事業として、人権講演会を開催しました。いずれもたくさんの方にご参加いただき、楽しい中にも、人権について考えあう時間を持っていただけたと考えております。

今後も様々な活動を通じて、「常磐地区は人権意識が最も高い地区」と言われるように取り組んでいきたいと思っております。今年度もみなさまのご協力をいただき、ありがとうございました。来年度も引き続き人同協の活動にご協力のほどをよろしくお願いいたします。



辻山 忍 会長

＝写真で見る年間事業活動の記録＝

視察研修研修（6月25日）



地区懇談会（7月～11月）



人権啓発委員研修（9月9日）



教育講座（2月22日）



← 総会
（5月19日）



人権講演会（12月10日）



じんけんフェスタ出展（12月4日）



常磐まつり出展（11月6日）

2. 常磐地区市民センターで「教育講座」を開催しました。

平成28年度の教育講座は、2月22日(水)常磐地区人同協主催により開催しました。今回は「ときわ保育園」の人権教育について、ときわ保育園の人権保育推進保育士 伊藤幸司先生にプレゼンテーションを願いましたので、下記に概要を報告します。

1) ときわ保育園が「めざす子どもの姿」は、

自分を大事にして、人をも大事にする子ども
しなやかな心とからだをもち、友達とかかわり遊べる子ども
互いのちがいに気づき認め合い、差別をなくしていける子ども



伊藤幸司 先生

2) この保育のために大切にしていることは、

一人ひとりが生き生きと幸せに生きること
(差別しない・差別を許さない・差別に負けない)
生涯にわたる生きる力の基礎を培うこと

3) これらを具体化するために、

- ・一人ひとりを尊重し、大切にするために情緒の安定と安着関係を形成することで自尊感情を養う事、また、主体的な遊びを通して生きていく力をつけていく事を大切にし、0~2歳児では「担当制保育」、2~5歳児では「人権プロジェクト保育」に取り組んでいる。
- ・「人権プロジェクト保育」は、毎月子ども達が興味を持てる身近なテーマを設定し、発達をふまえた上で体験をしながら学んでいける環境を整えている。
2~5歳児が同じテーマのもと、保育を行う事で経験を積み重ねていけるようにしている。
「なんだろう」と問題意識を持つ 「見てみよう」と遊びながら体験し理解を広げる
「どうしてそうなるのか」と遊びながら体験し理解を広げる 「もっと知りたい」と、理解を深めたり発展させたりする。

こうした中で、子ども同士が発見・共感し学びを広げていく取り組みの一部を、「絵本の読み聞かせ」「ごっこ遊び」「生活」「地域交流」「自尊感情や多様な価値観を育てる取り組み」などの、実例によって説明していただきました。

4) 園児の様子をスライドムービーで!

講演の最後に、園児たちが保育園の中で生活や遊びを目一杯楽しんでいる様子が、スライドムービーで映し出されました。

膨大な写真の中から選んで編集されたそうですが、シーン毎に保育士さんが「まあ~可愛い、こんなことあったよね」と成長していく園児の姿を見て、愛しさに浸っていたと、田中久美子園長が仰っていました。



(聞き入るおよそ60名の聴講者)

5) 田中久美子 園長先生から、まとめとして・・・



『ときわ保育園は0歳児~5歳児までの184名(定員200名)の保育を行っています。職員は65名(保育士・給食・パート含む)公立・私立を通して(四日市市では)一番大きな保育園です。

このような中で、子どもたちの笑顔、友達と関わる姿、先生と目と目を合わせて本当に楽しそうに遊ぶ姿がいっぱいです。

この笑顔を決やさないように私たちは、園児一人ひとりが、また、保育園全体が生き生きと安心して楽しく、過ごせる心地よい居場所になるように、これからも取り組んでいきます。』と力を込めて笑顔で結ばれました。

3. 市民人権活動支援事業（広域事業）を活用して人権啓発ビデオ ～人権文化の歴史に学ぶ～「人権フィールドワークのすすめ」を制作しました。

今回実施しました広域事業は、現在、常磐地区で取り組んでいる人権・同和教育を、より広範囲かつ効果的に進めることを目的として、市内他地区の人権教育推進団体や住民の皆さまも対象とした取組で、四日市市からの委託による事業です。

この事業は、具体的には、①人権に関するイベントなどを含む広域交流・啓発活動、②教材開発や人材育成などを目的とした調査・研究活動などです。

常磐地区人同協では今年度、この広域事業を活用して、「人権フィールドワークのすすめ」というDVDビデオ（23分）を制作しました。

今後、人権フィールドワークを企画する場合の教材として、常磐地区だけでなく多くの地区でも活用していただくように輪を広げたいと考えます。下記にDVDの概要を紹介します。

概要：制作したビデオは次の順（1～7項）で構成しています。

1. 「基調・人権及びフィールドワークとは何か」四日市市人権センター近藤郁江さんに解説していただきました。
2. 「フィールドワークの大切さ」昨年の第68回全国人権・同和教育研究大会に参加、報告を聞き、改めてフィールドワークの大切さに気づきました。
3. 「人権フィールドワークの視点」人権教育・啓発の手法としてなぜフィールドワークなのか。そのフィールドワークは、なぜ歴史的スポットなのか等を学習しました。
4. 「人権フィールドワークの実践」（伝承と研鑽）
身近な地域での実践：同教連夏期研修会「赤堀地区フィールドワーク研修会」で案内人として、赤堀地区歴史文化の伝承を体験
地方探訪による実践：東日本フィールドワーク研修（佐渡・会津）に参加し自己研鑽
5. 「赤堀地区フィールドワーク」の歴史的スポットを動画でご紹介
・赤堀小集落改良記念碑・誓覚寺・大将塚・誓元寺など
6. 「東日本フィールドワーク」の偏見や差別について動画でご紹介
・佐渡：行刑施設 牢屋跡、相川郷土博物館、被差別民について
・会津：涙橋、キリシタン塚、白山（はくさん）神社
7. 「まとめ」本当の人権教育とは、
・目で見て、耳で聞いて、雰囲気を感じて体感する。
・まちの歴史や文化を学んで、人権感覚を高める。
・学んだことを伝え、人権の輪を広げる。



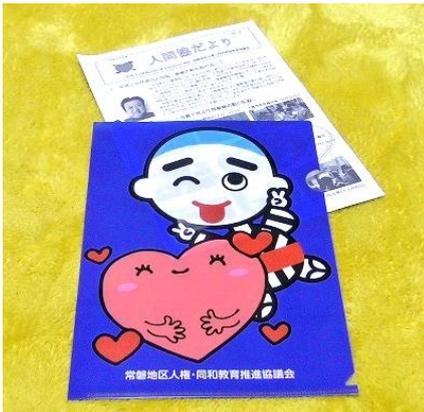
上記写真のDVDは、貸出します。申込は、常磐地区まちづくり会議事務局へ連絡下さい。
(352-1852)



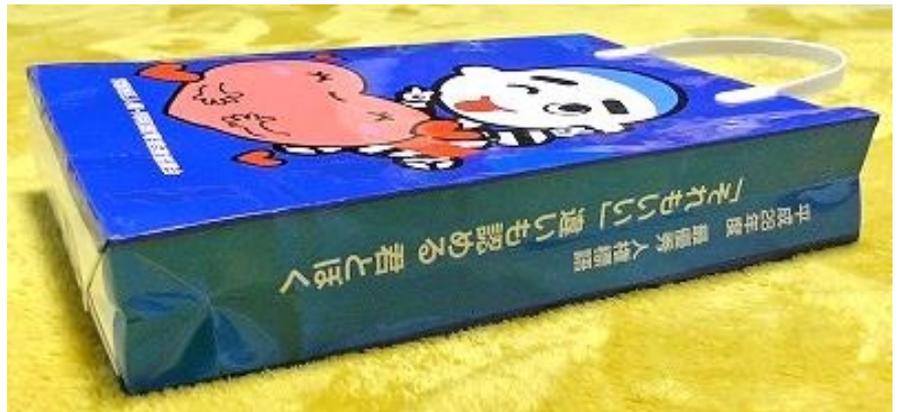
この「人権フィールドワークのすすめ」ビデオは2月22日に常磐地区市民センターで開催した「広域事業報告会」にて上映しました。

4. 「人権啓発用グッズ」が出来ました。

常磐地区人同協事業を推進するための、人権啓発用グッズが出来ましたのでご紹介します。各種事業開催時に活用して、常磐地区人同協の人権の輪を広げていただくようお願いいたします。



(平成 27 年度事業で調達済)
プラスチック製クリアファイル
(背景色・濃紺)



紙製手提げ袋 (背景色・濃紺) 人権標語を印刷
平成 28 年度最優秀 人権標語 「それもいい」違っても認める 君とぼく

人権のオアシスひろば (読者の寄稿から) ~ 自問自答すること、一步踏み出すこと ~

今年度は、『*障害者差別解消法』『**部落差別解消法』など人権に関する法律がいくつか施行されました。「差別はあかん」ことは幼い子どもでも知っているのに「差別がある」から出来た法律です。しかし残念ながら、法律は後ろ盾にはなっても、解決にはなりません。「しょうがない」と、あきらめてしまいたくなる気持ちもなくはありません。では、どう解決すればいいのでしょうか? 「一人ひとりが、まず隣の人を幸せにできれば、世界平和になります。」そんな言葉を子どもから聞いて、ハッとしたことがあります。「差別解消」と難しく考えてしまっていた自分に気づかされた瞬間でした。人権とは「当たり前」のことです。色々な人がいて、色々な考え方があります。

一人ひとりが、無理せず、まず出来ることをやってみること、常に「自問自答」しながら、そのひずみを感じた時、一步踏み出すことだと思います。人同協の活動もその一つです。「しょうがない」とあきらめず、同じ地域に暮す一市民の役割として、これからも、話し合い、考え合いたいと思います。* H28 年 4 月 1 日施行 ** H28 年 12 月 16 日施行 (川北 ひろみ)

編集後記 「人同協だより」4号(本年度最終号)をお届けいたします。早いもので「人同協だより」の編集に携わり、満3年となりました。この間、9月、11月、1月、3月、の年4回発行し本号で通巻12号となりました。編集方針は原則として、常磐地区人同協の人権啓発活動を中心に、なるべく丁寧に編集する事でした。これは『人同協って何をしているの?』という問いにお答えするためでした。読者の皆様に多少は活動内容をご理解いただいたと思います。

これからも『人同協だより』は継続されますが、何かフレッシュな紙面が大事だと思います。そのため、編集責任者はこの辺で交替を会長にお願いしている次第です。読者の皆様には無理な寄稿をお願いしたこともあったと思いますが、どうかご容赦願います。本当にありがとうございました。(人同協 広報部 川村 浩)

今年度発行した「人同協だより」は、常磐地区ホームページ <http://www.tokimati.com> から「トップページ 定期刊行物 人同協だより」の順で閲覧できます。

お問い合わせ先: 常磐まちづくり会議・事務局 Tel 352-1852